

政策部 特別寄稿

日米地位協定は、在日米軍の駐留経費は米側が負担する規定し、日本側に負担義務はない。

トルーマン大統領が、共産圏の封じ込め政策を始め、米・ソが対立した時代以来、在日米軍は日本を守るためなく、共産圏を威嚇する存在であり続けている。

安保定定以来50年、今不況で税収が落ち込む中、国民生活を守るための予算の財源に苦勞しているのはご存知の通りである。



東光院では定例の句会も開かれる

大学新入生の頃、阪急宝塚線は田植の風景が見られた。田舎の印象の強い「曽根」周辺は今や大型商業ビルや病院のある堂々たる市街地であった。

近くには秋と俳句で知られる曹洞宗の東光院がある。駅から僅か300メートルの閑静な住宅街にあるその標識を通り過ぎると、すぐに寺域らしい赤い橋がかかり、橋の両側

は人陰もない小さな公園だが樹木は大きい。創建735年というからまさに古刹だが、広大なものではない。1275年もの歴史の経過を物語るように伽藍や仏像や彫像や記念碑の類いが狭苦しいほど数多く配置されている。

「曽根」駅界隈

重文の降魔座釈尊が御本尊として安置されており、スリランカ国から寄贈された釈迦白仏像がエキゾチックな雰囲気をもっている。

寺社仏閣は我々の家屋や診療所と違いアートの数年前前にクロマある。数万年前にクロマ

遠い所でもないのに、足を運んで頂きたい。恐らく地元の人には頻りに行かれるだろう。

寺社仏閣は我々の家屋や診療所と違いアートの数年前前にクロマある。数万年前にクロマ

おおぞか ウォッチング 216

施設、建造物、縁起など多すぎて詳解する紙面がないので、興味ある方はホームページの資料が

ニヨン人が洞窟に彫った牛のレリーフは豊穡祈願のため、音楽も祈祷や祝い事と切り離せない。

現在も地球上で日常的に行われている紛争が示すように宗教は元来排他的である。宗教が起原でもある音楽も排他的で、モーツァルト派と演歌派は互いに好きになれない。

ピラミッドを作った技術者は科学的思考と宗教的信仰を矛盾せず両立させたのか。宗教裁判にかけられた地動説支持者の昔の天文学者は宗教をどう考えていたのか。

軍がいなくなれば、日本は巨額の防衛予算を支出せねばならない。それだけの防衛費を組むと東アジア諸国は日本への警戒感を高めるという。「米

ラク・アフガニスタンと米国の力の政策は世界中から非難を浴び、その影響力を失墜させた。米国が日本に基地を持ち軍隊を駐留させる根拠そのものが消失している。

戦後60年、日本人は安保で米国につながれてきたにもかかわらず、安保条約を正確に理解している人は極めて少ないよう

長年にわたって国民の生命と暮らしに重大な影響を与えてきた安保条約に目を向けさせぬよう働きかけてきた教育とマスコミこそ、米国の代理人によってコントロールされてきたものである。

「新世紀の日米同盟」発表

守るなど、時代錯誤も甚だしい。「アメリカを怒らせては大変だ」と、米国の意向をまず第一に持ち出す安保擁護派は、本当に利益を代表するの極端な疑わしい。元防衛相の石破茂議員(自民)は、米

ベトナムをはじめ、イタリヤ、フランス、ドイツ、日本、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド

となった現在、鳩山首相のこのころの道は、現行安保条約10条を示唆して、沖繩(本土)の基地を米国にお引き取り願うことだ。50年は十分な期間ではなかったかというべきであろう。沖繩でも本土でもたらいまわし

である。安保は軍事のみでなく、第2条によって日米間の「国際経済政策における違いを除く」「経済協力を促進すること」を規定し、日本の詳細が今や、米公文書によって明らかになっていることを付け加えたい。(おわり)

安保条約関連年表

1951年 旧日米安保条約調印

1960年 現行日米安保条約調印

1996年 「日米安保共同宣言」合意

2005年 「日米同盟・未来のための変革と再編」発表

2006年 共同文書「新世紀の日米同盟」発表

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

4月度生涯研修 「解剖・生理学にもとづく舌接触補助床(PAP)療法」

4月10日(土) 会場：東大阪市民会館3階大集会室

診療報酬改定「各地の最新数説明会」

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です。 ※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。 ※M&Dホールとは、歯科同協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名称です。